

# ニューズレター

No.95

2021年2月10日

## 第20回 さがみ自然フォーラム

### 展示は中止しました

今回のさがみ自然フォーラムは、記念すべき20回目ということで、フォーラム運営委員一同張り切って準備していたのですが、1月7日に翌8日から2月7日まで第二回目の緊急事態宣言が出されました。

会期は2月11日からの予定でしたから、ギリギリ開催できると思いつつ、宣言の期間が延長される可能性も十分ありそうにも思えました。

そのような状況で参加各団体や私たち運営委員が落ち着いた状況で準備を進めるのはどうかということで、1月23日本年度の展示中止を決め、参加各団体に連絡しました。結果的に宣言期間が延長されたのでよい判断だったかと思います。

### (レジュメ集が充実)

本年度はコロナ第1波が過ぎても先が見通せない状況がありました。そこで開催した場合でも感染対策として集会的なことは行わず、展示のみとする、その分レジュメ集を充実させるとの方針で、参加団体にはそのように呼び掛けていました。応えて下さった団体のおかげで、今までより充実したレジュメ集ができたことに感謝します。

### (HP 上で公開)

レジュメ集は今回、本協会 HP 内で公開しました。電子データにすることにより各団体一覧の掲載したそれぞれの団体の URL からその団体の HP に飛ぶことができます。これによって会場展示以上の情報を発信することができます。

好評であれば、このような取り組みは今後続けて行きたいと考えます。

コロナのおかげで、さがみ自然フォーラムは新たな発展をしたかも知れません。



## 【行事のお知らせ】

### かながわの地学巡検

鎌倉

### 腰越小動岬から稲村ヶ崎・長谷方面

2021年3月6日(土) 予備日 3月13日(土)

定員20名 参加費1000円(当日集金 資料代・保険)

案内は 箱根ジオミュージアム学芸員 笠間友博氏です。笠間さんには昨年江の島を案内して頂きました。

詳細計画は作成中です。仮予約受け付けます。仮予約された方に集合場所、持ち物等詳細計画をお知らせします。

ご希望の方は参加者氏名、住所、連絡先明記の上、メール、FAX でお申し込みください。

### 訃報

2007年から「大地はダイナミックに動くものだ！」シリーズで11回にわたり県内の第三紀以降の地殻変動の跡をたどり、最新の情報で説明して下さった、県立生命の星・地球博物館名誉館員 松島義章氏は病氣療養中でしたが本年1月12日お亡くなりになりました。84歳でした。今までのご指導に感謝して心からご冥福をお祈りいたします。

### 回顧 「大地はダイナミックに動くものだ！」シリーズ

第1回 2007年「大磯丘陵」 第2回 2008年「三浦半島」 第3回 2009年「山北」

第4回 2010年「東丹沢」 第5回 2011年「江の島」(東日本大震災の前日でした)

第6回 2012年「相模原」 第7回 2013年「横浜南部」 第8回 2014年「鎌倉」

第9回 2015年「平潟湾」 第10回 2016年「足柄山地」 第11回 2017年「大磯丘陵」

(第12回 2018年「箱根山地」・神奈川県温泉地学研究所 萬年一剛氏中心、松島氏は補佐)

## かながわの自然情報

### 平塚海岸 龍城ヶ丘市営プール跡地開発 松林を伐採？

現在の整備計画地航空写真



2020年1月発表の整備計画図



また、生物多様性の観点から、海岸砂丘は独特の環境なのでここに依存する希少動植物も多くあることから、保全することが望めます。該当の土地は、神奈川県有地で管理権が平塚市に委譲されているということです。大きな改変は神奈川県の承認が必要です。神奈川県自然保護協会では12月8日神奈川県県土整備局砂防海岸課に平塚市から現状変更の申請があったときは、砂防、津波防災の観点から慎重に判断するように申し入れました。

(資料は、豊かな海と暮らす平塚市民の会 (yutakanaumito@yahoo.co.jp) によります。)

平塚市営プールは2013年②閉鎖されました。平塚市は2020年1月、跡地に駐車場をともなうマルシェ、カフェ、コンビニ、芝生広場の整備計画を発表しました。2022年1月に着工、12月には利用開始の計画です。

事業はPFI方式で、これは事業者が行政から運営権を借り受け整備、営業し得た利益で維持管理するものです。

写真の枠内が開発エリアで、過去の経緯から樹林はあるのに保安林指定されていません。

しかし、湘南海岸は辻堂から大磯までここを除く範囲を神奈川県は海岸砂防保安林として長い時間掛けて育ててきました。本来ここも保安林に指定し整備しなくてはならない場所であることは明白です。

## 脱炭素の動き 宣言した市町村の人口は全国の約75%

コロナの陰に隠れて目立たなくなったものに気候非常事態宣言があります。神奈川県内では、鎌倉市市議会決議(2019.10.4)や大和市市議会決議(2019.12.20)で、また神奈川県知事、鎌倉市長(2020.2.7)相模原市(2020.9.20)が宣言しました。

また、2050年までに炭素排出量実質0を県内では次の自治体が宣言しました。神奈川県(2019.11.28) 小田原市(2019.11.22) 鎌倉市(2020.2.7) 川崎市(2020.2.17) 開成町(2020.3.5) 三浦市(2020.5.7) 相模原市(2020.9.30) 横須賀市(2021.1.29)。国内の実質0宣言都市の人口を合わせると日本の総人口の74.8%になります。(環境省資料 2021.2.4 現在)。ここに横浜市は入っていないのですが、2月5日「ゼロカーボン市区町村協議会」が全国の130市区町村により設立されました。こちらでは林横浜市長が会長になっています。

県内では、知る限り更に厚木市が今回改定する環境基本計画で実質排出量0を謳い、現在パブコメ中です。

藤沢では市民団体が集まり、鈴木藤沢市長宛に「ゼロカーボンシティの表明」し異常気象による災害防止にむけた「気候非常事態宣言」を発し、具体的な対策の強化するよう要望書を出しました。

菅首相も宣言したように、この問題は国を挙げて取り組む課題です。それぞれの人が居住地でできることに取り組みたいものです。

### 神奈川県自然保護協会からのお知らせ

#### 2021年度運営・事業計画について アイデアなど提案を

2020年度は、コロナ禍のため計画しながら中止に至った事業がありましたが、21年度にはワクチンも行き渡り徐々にもとの活動ができるようになると思われます。

来年度の事業計画を策定する時期になりました。会員の

方々からのアイデア・提案をお待ちしています。

また、役員改選の年になります。自薦他薦を問わずこの協会に新しい風をもたらしていただける方の応募をお願いいたします。

## ニュースレター 95号

2021年2月10日発行

特定非営利活動法人

神奈川県自然保護協会

<http://ww01.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: [nacs-kana-office01@eco-kana.org](mailto:nacs-kana-office01@eco-kana.org)

ゆうちょ銀行(9900) 029 (ぎんぎょ)店 当座 0112653

諸般の事情によりニュースレターの発行が少なくなっています。別冊もしばらく休止しています。

メールアドレスが分かる会員の方には、別途通信をお送りしています。差し支えなければEメールアドレスをお知らせください。